

# 岡崎市子ども計画の策定について

## 1 趣旨

2024（令和6）年度に終期を迎える、子どもと子育て家庭のための計画、「おかざき子育てプラン（計画期間2020年度～2024年度）」の次期計画として、子ども基本法及び子ども大綱等の理念に基づき、子ども施策を総合的に推進し、社会全体で子どもまんなかのまちづくりをめざすため、「岡崎市子ども計画（計画期間2025年度～2029年度）」の策定を進めています。

## 2 背景・目的

本市ではこれまで、岡崎市子ども・子育て支援事業計画に基づき子育て支援施策を展開しており、第2期岡崎市子ども・子育て支援事業計画では、岡崎市児童育成支援行動計画からの基本理念である「はばたく夢 子どもとともに育つ都市（まち） 大好き おかざき」を踏襲し、誰もが安心して子どもを産み、子育てに夢や希望を持つことができる社会の実現を目指してきました。

2023（令和5）年に子ども基本法が施行され、子ども大綱により、全ての子ども・若者が心身の状況や置かれた環境に関係なく健やかに成長し、将来にわたり幸せに生活ができる「子どもまんなか社会」の実現を目指すことが示され、本市でも子ども施策を総合的に推進し、市として子どもまんなかに取り組むため、岡崎市子ども計画を子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困の解消に向けた対策推進計画、子ども・若者計画と一体的に策定することとしました。

本計画では、引き続き第2期計画の基本理念と取組を継承し、全ての子ども・若者が生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持つことができるよう、家庭や地域、事業者、行政など社会全体で子どもまんなかのまちづくりをめざします。

## 3 計画の対象

本計画は、妊娠期を含めた0歳からおおむね40歳未満の子ども・若者、並びにその保護者（子育て家庭等）を対象とします。

### 今後のスケジュール（案）

◆パブリックコメントの実施	2024（令和6年）12月9日～2025（令和7）年1月9日
◆子ども・若者からの意見聴取の実施	2025（令和7）年1月
◆岡崎市子ども・子育て会議への報告	2025（令和7）年2月
◆計画の公表	2025（令和7）年3月

## 4 策定内容

<b>本市及び地域の現状</b> <b>本編P14～P19</b>	<b>市民意識調査結果</b> <b>本編P20～P34</b>
・子どもの人口が減少傾向 ・働く女性の増加	・就学前児童の母親の7割超、小学生の母親の8割超が就労 ・困った時やつらいと思ったときに誰にも悩みを相談せずに抱え続けている子ども・若者（小中学生、高校生以上）が数%存在
<b>岡崎市の子どもを取り巻く課題（課題を9点に整理）</b> <b>本編P35～P37</b>	
●子どもやその家庭への切れ目のない支援 ●保育ニーズの増加と多様化への対応 ●専門人材の確保と専門性の向上 ●子どもの居場所づくり ●健やかな成長を促す学びの保障	●困難を抱える子どもやその家庭への支援 ●子どもの貧困の解消に向けた取組み ●仕事と子育てが両立できる環境づくり ●安全・安心な子育て・子育て環境の整備
<b>計画の基本的な考え方</b> <b>本編P39～P43</b>	
【基本理念】はばたく夢 子どもとともに育つ都市（まち） 大好き おかざき	
・基本理念を実現するため、「 <u>子どもがいきいきと育つまち</u> 」「 <u>家族がともに育つまち</u> 」「 <u>みんなで子どもを育てるまち</u> 」の3つの基本目標を柱として、総合的に施策を推進します。	
<b>施策の展開（子ども計画、子どもの貧困の解消に向けた対策推進計画、子ども・若者計画）</b>	
・基本理念の達成を目指し、5年間の計画期間で展開していく、本市の子どもについての具体的な取組を実施します。5つの基本施策の基に27の具体的な推進施策を位置付けています。	
1 子どもの育ちを支える 2 子どもの成長を切れ目なくサポートする 3 支援が必要な子どもを守る	4 子育て環境をつくる 5 みんなで子どもを守る <b>本編P45～P96</b>
<b>子ども・子育ての環境整備（子ども・子育て支援事業計画）</b> <b>本編P97～P134</b>	
子どもや子育て家庭を取り巻く環境の整備を進めるため、現在の利用状況及び潜在的なニーズを含めた利用希望を把握した上で、2025年度から2029年度の教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを定めるとともに、その提供体制の確保の内容及びその実施時期を定めます。	
<b>推進体制</b> <b>本編P137～P138</b>	
○ 行政だけでなく、市民、教育・保育をはじめとした事業関係者、市民活動団体、地域団体、企業などとの連携により、子どもと子育て家庭等への支援を進めていきます。それぞれが担うべき役割を認識し、各自の特徴を活かしたきめ細かな取組を行うことで、社会全体で子どもまんなかのまちづくりを目指します。	
○ 当事者の目線に立ったチェックのため、「岡崎市子ども・子育て会議」を評価機関として位置付け、各年度において、施策・事業の実施状況を点検・評価し、事業の実施状況を公表する等、計画的な進行管理と事業の改善を行います。	